

宮城県登米総合産業高等学校

開校

市内にある上沼高校・米山高・米谷工業高校の3校と登米高校の商業科が統合・再編され、平成27年4月に(仮称)宮城県登米総合産業高等学校が登米市に誕生します。県内初の総合産業高校として開校する高校の概要をお知らせします。

学校全体が統合となる3校。右から上沼高、米山高、米谷工高。登米高は学科(商業科)が統合となります。



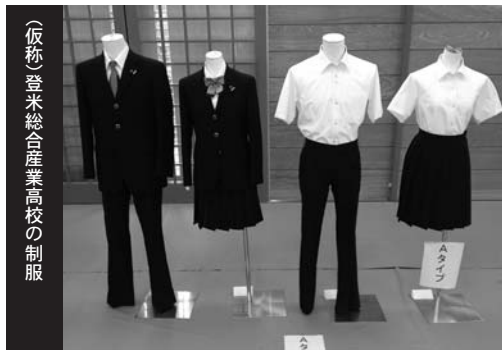
中学卒業者が年々減少 産業振興の人材を育成

現在、市内には五つの県立高校があります。登米地区の中学校卒業生数は年々減少しており、平成22年度から平成32年度までの間に約1300人減少する見込みです。県教育委員会では、既に小規模化している高校について高い教育効果と活力向上を考慮し、平成22年3月に「新県立高校将来構想第1次実施計画」において、登米市内にある高校の統合による再編を決定しました。現在は産業の高度化・多様

化に伴い、農業・工業・商業・福祉などの単一の専門分野の知識や技能だけでなく、分野を横断する知識や技能を合わせ持った人材が求められています。統合・再編する高校は、こうしたニーズに対応し地域の産業振興に貢献できるスペシャリストを養成する、県内初の「総合産業高校」として開校するものです。

市内の高校を統合再編 新校舎は上沼高に建設

統合の概要は【表】のとおり。統合の対象は、上沼高校、米山高、米谷工業高校の3校と登米高校の商業科です。



(仮称)登米総合産業高校の制服

複数の専門学科を持つ 県内初の総合産業高校

(仮称)登米総合産業高校の主な特色は次の三つです。一つ目は、複数の専門学科を持つ県内初の総合産業高校になります。異なる学科の生徒がそれぞれの専門知識を持ち寄り、共同で総合的・実践的な課題研究を行う科目(仮

称)総合産業課題研究」を設定します。

来年入学者が第1期生 統合校の新校舎に通学

来年4月に上沼高校、米山高、米谷工業高校に入学する生徒については、高校3年生となる平成27年4月の開校と同時に(仮称)登米総合産業高校の3年生(1期生)となり、新校舎(現在の上沼高敷地内に建設)に通学することになります。

校名案・新制服を決定 地域参画で課題の整理

校名案の(仮称)宮城県登米総合産業高等学校は、公募した名称をもとに統合関係校の保護者、同窓会、教職

【表】統合の概要

【現行】

- ◆上沼高校 2学級(普通科・農業技術科)
- ◆米山高 2学級(普通科・園芸ビジネス科)
- ◆米谷工業高校 3学級(機械システム科・電気システム科・情報技術科)
- ◆登米高校 4学級(普通科3・商業科1)



【平成27年度】

- ◆(仮称)登米総合産業高校 6学級(農業科・機械科・電気科・情報技術科・商業科・福祉科【新設】) ※全て仮称
- ◆登米高校 3学級(普通科)

魅力ある高校づくりを進めたい

(仮称)登米総合産業高校の開校準備を担当しています。統合再編の大きな要因には生徒数の減少がありますが、新しい高校では、時代のニーズに対応し、地域の産業振興に貢献できる人材を



宮城県教育庁高校教育課改革推進班 小山 高史 班長

育成していきたいと考えています。現在、統合校の教育課程や生徒間の交流、通学の利便性向上などを検討しながら、平成27年4月の開校に向けて準備を進めているところであります。総合産業高校の開校は県内初となります。今後、関係する皆さんの声を聞きながら、他校のモデルとなるような魅力ある高校づくりを進めていきたいですね。

(仮称)登米総合産業高校に関する問い合わせや意見は、宮城県教育庁高校教育課改革推進班まで
TEL 022(211)3711
FAX 022(211)36996